

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺病院	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	
		病院名	大阪府立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,839,469	
決算規模(千円)	2,554,843,191	
標準財政規模(千円)	1,569,476,480	
財政力指数	0.78763	
経常収支比率(%)	100.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.8
	将来負担比率(%)	173.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	92,565			
1 経常収益	92,565			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	92,565			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	92,565			
2 経常費用	92,565			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	92,565			
(うち支払利息)	92,565	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,758,571,784	
標準財政規模(千円)	851,858,003	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	46.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	579,574			
1 経常収益	579,574			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	579,574			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	579,574			
2 経常費用	579,574			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	579,574			
(うち支払利息)	579,574	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,759,471			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	十三市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,758,571,784	
標準財政規模(千円)	851,858,003	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	46.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	164,901			
1 経常収益	164,901			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	164,901			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	164,901			
2 経常費用	164,901			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	164,901			
(うち支払利息)	164,901	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	8,066,986			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	堺市
	病院名	堺病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	839,310	
決算規模(千円)	399,064,093	
標準財政規模(千円)	219,565,584	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	20.3

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	185,046			
2 経常費用	185,046			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	185,046			
(うち支払利息)	185,046	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-185,046			
純損益	-185,046			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	-		86.0	89.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	岸和田市
	病院名	岸和田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,575 m ²	指定病院の状況	救臨が 地 輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	400	79.8	80.5	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	79.8	80.5	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.2	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	194,911	
決算規模(千円)	75,792,062	
標準財政規模(千円)	41,642,634	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	100.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	38.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,165,075			
1 経常収益	14,159,608			
(1) 医業収益	12,946,239			
入院収益	7,574,534			
外来収益	4,836,300			
診療収入計	12,410,834			
その他医業収益	535,405			
(うち他会計負担金)	304,744			
(2) 医業外収益	1,213,369			
(うち国・都道府県補助金)	21,691			
(うち他会計補助・負担金)	907,123			
(うち長期前受金戻入)	15,954			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,467			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,676,354			
2 経常費用	13,666,476			
(1) 医業費用	12,808,791			
職員給与費	6,020,294	46.5	56.0	54.1
材料費	3,870,904	29.9	24.1	26.3
(うち薬品費)	2,224,882	17.2	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,558,292	12.0	11.1	12.3
減価償却費	873,499	6.7	9.2	8.3
経費	1,967,532	15.2	23.2	19.0
(うち委託料)	1,325,498	10.2	11.3	9.1
研究研修費	53,837			
資産減耗費	22,725			
(2) 医業外費用	857,685			
(うち支払利息)	296,454	2.3	1.6	1.5
(3) 特別損失	9,878			
損益				
経常損益	493,132			
純損益	488,721			
累積欠損金	4,315,720			
経常収支比率	103.6		98.2	99.3
医業収支比率	101.1		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	94.7		86.0	89.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,781,197
1 固定資産	14,510,719
(1) 有形固定資産	14,405,423
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	104,188
2 流動資産	2,270,478
(1) 現金及び預金	41,871
(2) 未収金及び未収収益	2,120,662
(3) 貸倒引当金()	298
(4) 貯蔵品	108,243
3 繰延資産	-
負債合計	13,974,880
1 固定負債	10,026,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,960,170
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,038,187
(7) リース債務	27,785
2 流動負債	3,846,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,424,136
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	337,947
(6) リース債務	39,389
(7) 一時借入金	490,000
(8) 未払金及び未払費用	1,547,230
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,636
(1) 長期前受金	192,701
(2) 長期前受金収益化累計額()	90,065
資本合計	2,806,317
1 資本金	7,023,190
2 剰余金	-4,216,873
(1) 資本剰余金	98,847
(2) 利益剰余金	-4,315,720
負債・資本合計	16,781,197
不良債務	151,488
実質資金不足額	151,488
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.7
修正医業収支金額(千円)	12,641,495

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,436,984	1,211,867
資本勘定繰入	545,314	190,000
計	1,982,298	1,401,867

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	151,488	1.2
29年度	198,014	1.6
28年度	171,922	1.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.3
健全化法上の資金不足額(千円)	151,488
健全化法上の資金不足比率(%)	1.1
地財法上の資金不足額(千円)	151,488
地財法上の資金不足比率(%)	1.1

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	豊中市
	病院名	市立豊中病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	67,544 m ²	指定病院の状況	救臨が感地輪
診療科数	24	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	599	85.9	88.9	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	-	-	-
計	613	83.9	86.8	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.6	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	395,479	
決算規模(千円)	144,355,360	
標準財政規模(千円)	83,720,889	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	1.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,969,426			
1 経常収益	18,969,426			
(1) 医業収益	17,279,299			
入院収益	11,511,746			
外来収益	4,974,300			
診療収入計	16,486,046			
その他医業収益	793,253			
(うち他会計負担金)	426,885			
(2) 医業外収益	1,690,127			
(うち国・都道府県補助金)	70,402			
(うち他会計補助・負担金)	949,431			
(うち長期前受金戻入)	489,850			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,571,265			
2 経常費用	19,571,265			
(1) 医業費用	18,604,084			
職員給与費	9,136,304	52.9	56.0	49.8
材料費	4,705,199	27.2	24.1	28.0
(うち薬品費)	2,665,315	15.4	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,902,204	11.0	11.1	12.8
減価償却費	1,319,969	7.6	9.2	8.3
経費	3,300,021	19.1	23.2	20.7
(うち委託料)	1,728,655	10.0	11.3	11.4
研究研修費	65,675			
資産減耗費	76,916			
(2) 医業外費用	967,181			
(うち支払利息)	239,587	1.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-601,839			
純損益	-601,839			
累積欠損金	997,084			
経常収支比率	96.9		98.2	99.5
医業収支比率	92.9		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	89.9		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,206,561
1 固定資産	18,951,057
(1) 有形固定資産	18,761,051
(2) 無形固定資産	190,006
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,255,504
(1) 現金及び預金	5,216,837
(2) 未収金及び未収収益	2,828,829
(3) 貸倒引当金()	27,060
(4) 貯蔵品	212,910
3 繰延資産	-
負債合計	15,942,939
1 固定負債	10,504,285
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,203,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,300,421
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,572,296
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,479,019
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	530,975
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,472,965
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,866,358
(1) 長期前受金	4,187,487
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,321,129
資本合計	11,263,622
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	170,248
(1) 資本剰余金	1,167,332
(2) 利益剰余金	-997,084
負債・資本合計	27,206,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.6
修正医業収支金額(千円)	16,852,414

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,370,947	1,376,316
資本勘定繰入	905,510	905,510
計	2,276,457	2,281,826

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	池田市
				病院名	市立池田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,896 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	364	90.7	90.2	89.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	90.7	90.2	89.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.9	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	103,069	
決算規模(千円)	38,418,897	
標準財政規模(千円)	21,477,070	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	3.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,105,631			
1 経常収益	12,055,631			
(1) 医業収益	11,642,622			
入院収益	7,387,430			
外来収益	3,662,002			
診療収入計	11,049,432			
その他医業収益	593,190			
(うち他会計負担金)	264,292			
(2) 医業外収益	413,009			
(うち国・都道府県補助金)	17,552			
(うち他会計補助・負担金)	265,925			
(うち長期前受金戻入)	6,819			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,190,060			
2 経常費用	12,140,060			
(1) 医業費用	11,509,546			
職員給与費	5,558,534	47.7	56.0	57.1
材料費	3,076,722	26.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,817,523	15.6	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,191,481	10.2	11.1	11.4
減価償却費	768,168	6.6	9.2	9.5
経費	2,044,419	17.6	23.2	22.0
(うち委託料)	1,225,512	10.5	11.3	10.8
研究研修費	39,323			
資産減耗費	22,380			
(2) 医業外費用	630,514			
(うち支払利息)	219,497	1.9	1.6	1.6
(3) 特別損失	50,000			
損益				
経常損益	-84,429			
純損益	-84,429			
累積欠損金	17,906,012			
経常収支比率	99.3		98.2	96.7
医業収支比率	101.2		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	94.9		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,930,457
1 固定資産	14,547,080
(1) 有形固定資産	14,521,101
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	4,800
2 流動資産	2,383,377
(1) 現金及び預金	405,952
(2) 未収金及び未収収益	1,947,239
(3) 貸倒引当金()	7,825
(4) 貯蔵品	38,011
3 繰延資産	-
負債合計	13,442,062
1 固定負債	10,068,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,329,418
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,575,423
(7) リース債務	164,082
2 流動負債	3,242,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,261,295
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	312,549
(6) リース債務	20,092
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,590,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	131,137
(1) 長期前受金	211,487
(2) 長期前受金収益化累計額()	80,350
資本合計	3,488,395
1 資本金	21,383,027
2 剰余金	-17,894,632
(1) 資本金剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-17,906,012
負債・資本合計	16,930,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.9
修正医業収支金額(千円)	11,378,330

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	654,771	530,217
資本勘定繰入	641,558	641,558
計	1,296,329	1,171,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	吹田市
	病院名	吹田市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	374,468	
決算規模(千円)	126,638,909	
標準財政規模(千円)	71,396,048	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.7
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	109,375			
1 経常収益	109,375			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	109,375			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	109,375			
2 経常費用	109,375			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	109,375			
(うち支払利息)	109,375	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	泉大津市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	22	看護配置	7 : 1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	230	70.1	72.7	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	70.1	72.7	70.4
平均在院日数（一般病床のみ）		10.5	12.1	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	75,897	
決算規模（千円）	27,277,602	
標準財政規模（千円）	16,640,905	
財政力指数	0.73	
経常収支比率（%）	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.9
	将来負担比率（%）	68.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	88.4
修正医業収支金額（千円）	4,996,806

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,671,983			
1 経常収益	5,671,983			
(1) 医業収益	5,136,010			
入院収益	2,905,301			
外来収益	1,722,510			
診療収入計	4,627,811			
その他医業収益	508,199			
(うち他会計負担金)	139,204			
(2) 医業外収益	535,973			
(うち国・都道府県補助金)	31,495			
(うち他会計補助・負担金)	442,444			
(うち長期前受金戻入)	5,529			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,927,332			
2 経常費用	5,927,332			
(1) 医業費用	5,651,093			
職員給与費	2,723,554	53.0	56.0	59.3
材料費	1,033,216	20.1	24.1	19.3
(うち薬品費)	589,927	11.5	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	443,211	8.6	11.1	9.2
減価償却費	300,272	5.8	9.2	10.3
経費	1,582,236	30.8	23.2	27.6
(うち委託料)	536,269	10.4	11.3	12.3
研究研修費	10,643			
資産減耗費	1,172			
(2) 医業外費用	276,239			
(うち支払利息)	97,495	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-255,349			
純損益	-255,349			
累積欠損金	8,343,013			
経常収支比率	95.7		98.2	96.7
医業収支比率	90.9		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	85.9		86.0	83.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	7,855,937
1 固定資産	6,924,981
(1) 有形固定資産	6,904,012
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	20,969
2 流動資産	930,956
(1) 現金及び預金	91,311
(2) 未収金及び未収収益	821,456
(3) 貸倒引当金（ ）	1,579
(4) 貯蔵品	18,675
3 繰延資産	-
負債合計	8,047,512
1 固定負債	5,449,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,679,485
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	1,090,805
(7) リース債務	78,936
2 流動負債	2,514,676
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	454,561
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	182,767
(6) リース債務	56,238
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	342,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,610
(1) 長期前受金	168,677
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	85,067
資本合計	-191,575
1 資本金	8,141,438
2 剰余金	-8,333,013
(1) 資本金剰余金	10,000
(2) 利益剰余金	-8,343,013
負債・資本合計	7,855,937
不良債務	1,129,159
実質資金不足額	1,129,159
資金不足額（ ）	191,575
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	107,965
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	581,648	581,648
資本勘定繰入	341,090	318,352
計	922,738	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	1,129,159	22.0
29年度	967,493	19.6
28年度	605,075	12.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	162.4
健全化法上の資金不足額（千円）	452,886
健全化法上の資金不足比率（%）	8.8
地財法上の資金不足額（千円）	1,129,159
地財法上の資金不足比率（%）	21.9

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	貝塚市
				病院名	貝塚病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,079 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	18	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	249	69.7	73.2	73.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	69.7	73.2	73.0
平均在院日数（一般病床のみ）		7.9	8.6	8.7

設立団体の状況		
人口（人）	88,694	
決算規模（千円）	34,241,608	
標準財政規模（千円）	18,267,710	
財政力指数	0.69	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	40.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	90.2
修正医業収支金額（千円）	6,198,299

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,253,926			
1 経常収益	7,065,551			
(1) 医業収益	6,393,999			
入院収益	3,624,564			
外来収益	2,399,232			
診療収入計	6,023,796			
その他医業収益	370,203			
(うち他会計負担金)	195,700			
(2) 医業外収益	671,552			
(うち国・都道府県補助金)	7,199			
(うち他会計補助・負担金)	349,265			
(うち長期前受金戻入)	246,263			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	188,375			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,217,793			
2 経常費用	7,217,793			
(1) 医業費用	6,873,916			
職員給与費	3,204,201	50.1	56.0	59.3
材料費	1,527,798	23.9	24.1	19.3
(うち薬品費)	844,667	13.2	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	645,376	10.1	11.1	9.2
減価償却費	429,261	6.7	9.2	10.3
経費	1,675,608	26.2	23.2	27.6
(うち委託料)	579,591	9.1	11.3	12.3
研究研修費	26,923			
資産減耗費	10,125			
(2) 医業外費用	343,877			
(うち支払利息)	120,446	1.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-152,242			
純損益	36,133			
累積欠損金	3,427,345			
経常収支比率	97.9		98.2	96.7
医業収支比率	93.0		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	90.3		86.0	83.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	5,980,049
1 固定資産	5,009,329
(1) 有形固定資産	4,996,195
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	9,790
2 流動資産	970,720
(1) 現金及び預金	48,672
(2) 未収金及び未収収益	915,360
(3) 貸倒引当金（ ）	50,662
(4) 貯蔵品	56,890
3 繰延資産	-
負債合計	7,269,554
1 固定負債	5,106,167
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,754,361
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	60,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,181,650
(7) リース債務	110,156
2 流動負債	1,871,133
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	555,358
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	201,196
(6) リース債務	33,559
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	744,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	292,254
(1) 長期前受金	2,819,377
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,527,123
資本合計	-1,289,505
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-2,618,266
(1) 資本金剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-3,427,345
負債・資本合計	5,980,049
不良債務	335,055
実質資金不足額	335,055
資金不足額（ ）	1,289,505
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	997,251
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	663,986	544,965
資本勘定繰入	355,035	355,035
計	1,019,021	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	335,055	5.2
29年度	24,888	0.4
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	53.6
健全化法上の資金不足額（千円）	335,055
健全化法上の資金不足比率（%）	5.2
地財法上の資金不足額（千円）	335,055
地財法上の資金不足比率（%）	5.2

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	大阪府	
				市町村・組合名	枚方市	
				病院名	市立ひらかた病院	
施設及び業務概況等						
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	未	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当			
建物面積	31,824 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪			
診療科数	24	看護配置	7:1			
許可公営企業		経営形態	直営			
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満			

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	327	78.0	72.7	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	0.6	0.3	4.7
計	335	76.1	71.0	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.8	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	404,152	
決算規模(千円)	133,292,431	
標準財政規模(千円)	78,336,693	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,697,486			
1 経常収益	9,695,428			
(1) 医業収益	8,228,637			
入院収益	5,260,383			
外来収益	2,249,056			
診療収入計	7,509,439			
その他医業収益	719,198			
(うち他会計負担金)	359,886			
(2) 医業外収益	1,466,791			
(うち国・都道府県補助金)	17,452			
(うち他会計補助・負担金)	727,883			
(うち長期前受金戻入)	528,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,058			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,727,667			
2 経常費用	9,723,255			
(1) 医業費用	9,327,151			
職員給与費	4,716,261	57.3	56.0	57.1
材料費	1,519,924	18.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	741,120	9.0	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	772,213	9.4	11.1	11.4
減価償却費	1,231,579	15.0	9.2	9.5
経費	1,828,084	22.2	23.2	22.0
(うち委託料)	994,577	12.1	11.3	10.8
研究研修費	22,697			
資産減耗費	8,606			
(2) 医業外費用	396,104			
(うち支払利息)	123,049	1.5	1.6	1.6
(3) 特別損失	4,412			
損益				
経常損益	-27,827			
純損益	-30,181			
累積欠損金	12,673			
経常収支比率	99.7		98.2	96.7
医業収支比率	88.2		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	88.5		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,351,433
1 固定資産	10,908,513
(1) 有形固定資産	10,848,519
(2) 無形固定資産	4,305
(3) 投資その他の資産	55,689
2 流動資産	2,442,920
(1) 現金及び預金	1,093,166
(2) 未収金及び未収収益	1,257,025
(3) 貸倒引当金()	2,836
(4) 貯蔵品	95,565
3 繰延資産	-
負債合計	13,332,748
1 固定負債	10,587,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,183,620
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,403,489
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,011,765
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	913,286
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357,333
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	635,956
(9) 前受金及び前受収益	32,963
3 繰延収益	733,874
(1) 長期前受金	1,347,816
(2) 長期前受金収益化累計額()	613,942
資本合計	18,685
1 資本金	10,299
2 剰余金	8,386
(1) 資本金剰余金	21,059
(2) 利益剰余金	-12,673
負債・資本合計	13,351,433
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.4
修正医業収支金額(千円)	7,868,751

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,087,769	1,087,769
資本勘定繰入	516,694	516,694
計	1,604,463	1,604,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	八尾市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	指定病院の状況	救臨が地		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	380	91.8	89.9	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	91.8	89.9	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.1	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	268,800	
決算規模(千円)	101,001,104	
標準財政規模(千円)	56,521,736	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	16.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.3
修正医業収支金額(千円)	12,898,265

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,449,806			
1 経常収益	14,405,655			
(1) 医業収益	13,155,587			
入院収益	8,583,976			
外来収益	3,941,828			
診療収入計	12,525,804			
その他医業収益	629,783			
(うち他会計負担金)	257,322			
(2) 医業外収益	1,250,068			
(うち国・都道府県補助金)	6,183			
(うち他会計補助・負担金)	568,084			
(うち長期前受金戻入)	586,470			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,151			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,350,217			
2 経常費用	14,322,346			
(1) 医業費用	13,531,837			
職員給与費	6,192,293	47.1	56.0	57.1
材料費	3,496,579	26.6	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,813,773	13.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,682,806	12.8	11.1	11.4
減価償却費	1,152,799	8.8	9.2	9.5
経費	2,602,657	19.8	23.2	22.0
(うち委託料)	1,894,659	14.4	11.3	10.8
研究研修費	41,274			
資産減耗費	46,235			
(2) 医業外費用	790,509			
(うち支払利息)	226,007	1.7	1.6	1.6
(3) 特別損失	27,871			
損益				
経常損益	83,309			
純損益	99,589			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.6		98.2	96.7
医業収支比率	97.2		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	94.8		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,005,544
1 固定資産	14,696,208
(1) 有形固定資産	14,448,307
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	247,759
2 流動資産	7,309,336
(1) 現金及び預金	5,095,210
(2) 未収金及び未収収益	2,138,953
(3) 貸倒引当金()	5,119
(4) 貯蔵品	70,267
3 繰延資産	-
負債合計	18,289,801
1 固定負債	13,738,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,345,511
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,286,692
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,727,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,243,762
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	544,952
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,894,342
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	823,709
(1) 長期前受金	3,699,372
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,875,663
資本合計	3,715,743
1 資本金	2,497,286
2 剰余金	1,218,457
(1) 資本剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	1,200,432
負債・資本合計	22,005,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	848,776	825,406
資本勘定繰入	777,978	590,748
計	1,626,754	1,416,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	泉佐野市
		病院名	泉佐野病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,966	
決算規模(千円)	132,600,609	
標準財政規模(千円)	22,660,156	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	104.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.0
	将来負担比率(%)	35.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	228,825			
1 経常収益	228,825			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	228,825			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	228,825			
2 経常費用	228,825			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
(うち委託料)	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	228,825			
(うち支払利息)	228,825	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	和泉市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,493 m ²	指定病院の状況	救臨が 輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	307	97.3	74.9	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	97.3	74.9	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.4	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	186,109	
決算規模(千円)	62,964,647	
標準財政規模(千円)	34,455,437	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	525,922			
1 経常収益	525,856			
(1) 医業収益	200,339			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	200,339			
(うち他会計負担金)	175,866			
(2) 医業外収益	325,517			
(うち国・都道府県補助金)	5,228			
(うち他会計補助・負担金)	150,815			
(うち長期前受金戻入)	65,354			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	66			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,884,036			
2 経常費用	1,884,036			
(1) 医業費用	1,769,951			
職員給与費	136	0.1	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	1,009,660	504.0	9.2	9.5
経費	351,061	175.2	23.2	22.0
(うち委託料)	72,690	36.3	11.3	10.8
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	409,094	-	-	-
(2) 医業外費用	114,085			
(うち支払利息)	97,888	48.9	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,358,180			
純損益	-1,358,114			
累積欠損金	10,376,454			
経常収支比率	27.9		98.2	96.7
医業収支比率	11.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	62.1		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	163.1		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	62.1		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	10.6		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,275,210
1 固定資産	16,024,595
(1) 有形固定資産	16,016,411
(2) 無形固定資産	8,184
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	250,615
(1) 現金及び預金	167,128
(2) 未収金及び未収収益	83,487
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	16,972,536
1 固定負債	15,832,392
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,600,192
(2) その他の企業債	232,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,028,763
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	778,823
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	247,282
(9) 前受金及び前受収益	657
3 繰延収益	111,381
(1) 長期前受金	237,106
(2) 長期前受金収益化累計額()	125,725
資本合計	-697,326
1 資本金	7,454,650
2 剰余金	-8,151,976
(1) 資本金剰余金	2,224,478
(2) 利益剰余金	-10,376,454
負債・資本合計	16,275,210
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	697,326
資本不足額(繰延収益控除後)()	585,945
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収支金額(千円)	24,473

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,625	326,681
資本勘定繰入	218,893	618,043
計	491,518	944,724

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	240,546	134.4
28 年度	249,515	146.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5179.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	箕面市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪		
診療科数	26	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	317	88.8	90.3	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	88.8	90.3	86.4
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.3	10.4

設立団体の状況		
人口（人）	133,411	
決算規模（千円）	60,678,176	
標準財政規模（千円）	26,396,551	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.5
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.4
修正医業収支金額（千円）	8,462,488

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,646,714			
1 経常収益	8,646,714			
(1) 医業収益	8,471,400			
入院収益	5,805,510			
外来収益	2,406,646			
診療収入計	8,212,156			
その他医業収益	259,244			
(うち他会計負担金)	8,912			
(2) 医業外収益	175,314			
(うち国・都道府県補助金)	22,256			
(うち他会計補助・負担金)	21,088			
(うち長期前受金戻入)	56,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,531,870			
2 経常費用	9,529,383			
(1) 医業費用	9,261,264			
職員給与費	5,049,196	59.6	56.0	57.1
材料費	1,804,216	21.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	874,616	10.3	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	869,339	10.3	11.1	11.4
減価償却費	585,093	6.9	9.2	9.5
経費	1,787,243	21.1	23.2	22.0
(うち委託料)	827,478	9.8	11.3	10.8
研究研修費	30,649			
資産減耗費	4,867			
(2) 医業外費用	268,119			
(うち支払利息)	7,509	0.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	2,487			
損益				
経常損益	-882,669			
純損益	-885,156			
累積欠損金	10,545,955			
経常収支比率	90.7		98.2	96.7
医業収支比率	91.5		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	0.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	0.4		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	0.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	90.4		86.0	85.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,598,132
1 固定資産	9,967,726
(1) 有形固定資産	9,916,284
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	50,256
2 流動資産	1,630,406
(1) 現金及び預金	310,528
(2) 未収金及び未収収益	1,274,491
(3) 貸倒引当金（ ）	8,633
(4) 貯蔵品	54,020
3 繰延資産	-
負債合計	4,569,693
1 固定負債	2,806,546
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	371,972
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	700,000
(6) 引当金	1,600,024
(7) リース債務	134,550
2 流動負債	928,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,950
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	282,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	526,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	834,442
(1) 長期前受金	1,104,431
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	269,989
資本合計	7,028,439
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-9,134,490
(1) 資本剰余金	1,406,465
(2) 利益剰余金	-10,540,955
負債・資本合計	11,598,132
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,164	30,000
資本勘定繰入	130,003	701,000
計	380,167	731,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	124.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	柏原市
				病院名	市立柏原病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	16	看護配置	7 : 1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	220	75.8	78.4	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	75.8	78.4	79.2
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	15.1	14.3

設立団体の状況		
人口（人）	71,112	
決算規模（千円）	24,425,286	
標準財政規模（千円）	15,162,579	
財政力指数	0.63	
経常収支比率（%）	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.9
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.8
修正医業収支金額（千円）	4,032,181

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,514,908			
1 経常収益	4,500,956			
(1) 医業収益	4,126,378			
入院収益	2,828,995			
外来収益	996,689			
診療収入計	3,825,684			
その他医業収益	300,694			
(うち他会計負担金)	94,197			
(2) 医業外収益	374,578			
(うち国・都道府県補助金)	2,514			
(うち他会計補助・負担金)	155,413			
(うち長期前受金戻入)	131,356			
(うち資本費繰入収益)	65,361			
(3) 特別利益	13,952			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,726,538			
2 経常費用	4,726,538			
(1) 医業費用	4,491,597			
職員給与費	2,379,105	57.7	56.0	59.3
材料費	786,750	19.1	24.1	19.3
(うち薬品費)	428,248	10.4	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	322,107	7.8	11.1	9.2
減価償却費	273,377	6.6	9.2	10.3
経費	1,041,683	25.2	23.2	27.6
(うち委託料)	481,470	11.7	11.3	12.3
研究研修費	8,322			
資産減耗費	2,360			
(2) 医業外費用	234,941			
(うち支払利息)	89,786	2.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-225,582			
純損益	-211,630			
累積欠損金	1,956,934			
経常収支比率	95.2		98.2	96.7
医業収支比率	91.9		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	89.9		86.0	83.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,514,859
1 固定資産	5,614,006
(1) 有形固定資産	5,443,857
(2) 無形固定資産	13,671
(3) 投資その他の資産	156,478
2 流動資産	900,853
(1) 現金及び預金	239,255
(2) 未収金及び未収収益	665,241
(3) 貸倒引当金（ ）	17,367
(4) 貯蔵品	13,724
3 繰延資産	-
負債合計	7,452,584
1 固定負債	4,766,734
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,970,989
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	795,745
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,017,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	413,041
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	155,430
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,100,000
(8) 未払金及び未払費用	343,869
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	668,540
(1) 長期前受金	5,948,469
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	5,279,929
資本合計	-937,725
1 資本金	887,261
2 剰余金	-1,824,986
(1) 資本金剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	-1,956,934
負債・資本合計	6,514,859
不良債務	703,416
実質資金不足額	703,416
資金不足額（ ）	937,725
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	269,185
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	248,127	249,610
資本勘定繰入	226,696	446,696
計	474,823	696,306

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	703,416	17.0
29年度	698,643	17.3
28年度	374,355	9.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	47.4
健全化法上の資金不足額（千円）	703,416
健全化法上の資金不足比率（%）	17.0
地財法上の資金不足額（千円）	703,416
地財法上の資金不足比率（%）	17.0

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	藤井寺市
	病院名	市立藤井寺市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	98	80.9	82.6	80.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	80.9	82.6	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.0	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	65,438	
決算規模(千円)	22,328,863	
標準財政規模(千円)	13,836,592	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	100.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	39.5

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	5,423 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.1
修正医業収支金額(千円)	2,384,195

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,504,147			
1 経常収益	2,504,147			
(1) 医業収益	2,384,195			
入院収益	1,174,601			
外来収益	1,120,445			
診療収入計	2,295,046			
その他医業収益	89,149			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	119,952			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	109,464			
(うち長期前受金戻入)	351			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,582,322			
2 経常費用	2,582,322			
(1) 医業費用	2,481,909			
職員給与費	1,228,098	51.5	56.0	71.8
材料費	905,412	38.0	24.1	16.5
(うち薬品費)	755,805	31.7	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	132,373	5.6	11.1	5.6
減価償却費	110,547	4.6	9.2	12.2
経費	228,899	9.6	23.2	31.2
(うち委託料)	141,767	5.9	11.3	12.3
研究研修費	7,482			
資産減耗費	1,471			
(2) 医業外費用	100,413			
(うち支払利息)	13,536	0.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-78,175			
純損益	-78,175			
累積欠損金	2,064,056			
経常収支比率	97.0		98.2	97.1
医業収支比率	96.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	92.7		86.0	74.9

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,365,667
1 固定資産	1,268,000
(1) 有形固定資産	1,267,834
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,097,667
(1) 現金及び預金	751,186
(2) 未収金及び未収収益	331,921
(3) 貸倒引当金()	2,221
(4) 貯蔵品	16,781
3 繰延資産	-
負債合計	1,272,509
1 固定負債	1,277,834
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	755,204
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	522,630
(7) リース債務	-
2 流動負債	443,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,630
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,466
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	194,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,089
(1) 長期前受金	17,547
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,458
資本合計	638,158
1 資本金	2,640,486
2 剰余金	-2,002,328
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-2,064,056
負債・資本合計	2,365,667
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	109,464	109,464
資本勘定繰入	41,478	41,478
計	150,942	150,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	86.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	東大阪市
		病院名	総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	79.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	502,784	
決算規模(千円)	202,490,237	
標準財政規模(千円)	108,825,402	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	6.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	203,761			
1 経常収益	203,761			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	203,761			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	203,761			
2 経常費用	203,761			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	203,761			
(うち支払利息)	203,761	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	阪南市
	病院名	阪南市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	185	71.2	70.3	73.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	71.2	70.3	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.8	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	54,276	
決算規模(千円)	18,836,366	
標準財政規模(千円)	11,041,666	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	84.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,965 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	22	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収支金額(千円)	8,414

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	363,354			
1 経常収益	363,354			
(1) 医業収益	8,414			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	8,414			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	354,940			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	238,180			
(うち長期前受金戻入)	27,987			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	442,672			
2 経常費用	442,672			
(1) 医業費用	399,496			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	170,754	2029.4	9.2	10.4
経費	228,742	2718.6	23.2	29.9
(うち委託料)	8,736	103.8	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	43,176			
(うち支払利息)	39,977	475.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-79,318			
純損益	-79,318			
累積欠損金	4,009,077			
経常収支比率	82.1		98.2	96.7
医業収支比率	2.1		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	65.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	2830.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	65.6		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	28.3		86.0	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,766,717
1 固定資産	2,579,787
(1) 有形固定資産	2,578,054
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	186,930
(1) 現金及び預金	185,845
(2) 未収金及び未収収益	1,085
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,796,350
1 固定負債	2,561,836
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,561,836
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	127,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	107,235
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	215,444
資本合計	-29,633
1 資本金	2,713,058
2 剰余金	-2,742,691
(1) 資本剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-4,009,077
負債・資本合計	2,766,717
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	29,633
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	46,918	238,180
資本勘定繰入	41,987	43,208
計	88,905	281,388

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47647.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。